

副専攻プログラム説明書

開設学部（学科）名〔教育学部(第二類)〕

プログラムの名称	(和文) 数学教育学副専攻プログラム
	(英文) Program in Secondary School Mathematics Education
1. 概要	<p>数学教育学プログラムでは、数学教育に関する高い学識と数学的な能力を兼ね備えた、中学校、高等学校の数学科教員の養成や、数学教育に関連した大学院に進学し研究者や高度専門職業人をめざす人材の育成を行っている。</p> <p>本副専攻プログラムの教育課程においては、そういった主専攻プログラムで提供している数学教育の原理、内容、方法が多様かつ系統的に学べるように、基礎的な専門科目6科目と発展的な専門科目2科目を提供し、それらの履修を通して、数学教育に関わる基本となる理論を概観し、数学教育とは何かについての基礎的知識が身に付くようにする。それにより、科学技術創造立国の基盤を担っている数学教育そのものについての理解を広めて行きたいと考え、本副専攻プログラムを開設する。</p>
2. 到達目標	<p>数学教育学及び数学内容学の学問体系のコア部分に関する基礎的な知識の修得が、本プログラムの到達目標である。</p>
3. 登録時期	<p>副専攻プログラムの開始時期は、2年次である。事前にプログラム登録をしておくこと。</p>
4. 登録要件	<p>教養教育科目の中の「基盤科目」8単位分（線型代数学Ⅰ、Ⅱ及び微分積分学Ⅰ、Ⅱ）を履修済みであることが望ましい。なお、教員免許の取得はできない。</p>
5. 受入上限数	<p>制限なしとする。</p>
6. 授業科目	<p>※授業科目は、別紙の履修表を参照すること。 ※授業内容は、各年度に公開されるシラバスを参照すること。</p>
7. 修了要件	<p>別紙の履修表に示す授業科目のうち、16単位すべてを修得すること。</p>
8. 責任体制	<p>責任者名等：数学教育学プログラム担当教員会</p>
9. 既修得単位等の認定単位数等	<p>(1) 他大学等における既修得単位等の認定単位数等 6単位まで認める。 (2) 広島大学における既修得単位(科目等履修生として修得した単位を含む。)の認定単位数等 10単位まで認める。</p>

【副専攻プログラム履修に関する注意事項】

○主専攻プログラムの授業時間割の関係で、登録した副専攻プログラムの授業科目履修が制限されることがある。

○副専攻プログラムで開設されている授業科目も、本学共通の平均評価点(GPA)の計算対象に含まれる。

別表

数学教育学副専攻プログラム履修表

科目区分	授業科目	開設単位数	履修セメスター						要修得単位数	開設学部	備考
			3セメ	4セメ	5セメ	6セメ	7セメ	8セメ			
専門教育科目	基礎	数理統計学概論	②	○					12	教育学部	
		数学教育学概論Ⅰ	②	○							
		代数学概論Ⅰ	②	○							
		幾何学概論Ⅰ	②	○							
		解析学概論Ⅰ	②	○							
		数学教育学概論Ⅱ	②		○						
	専門	数学教育カリキュラム論	②			○			4		
		解析学研究法	②			○					
		合計									16

〈履修上の注意〉

1. 開設単位数欄の○印は必修を表す。
2. 履修セメスターの○印は標準履修セメスター
3. 専門基礎科目12単位、専門科目4単位を修得すること。